

上下水道局長目標

上下水道局長 磯 稔(いそ みのる)



当局の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当局の方針

既に導入している小水力発電と太陽光発電の設備や、環境にやさしい電力の調達により CO2 削減に取り組んでいるところです。今後は計画的なエコカーの導入、施設照明の LED 化など、可能な手段を積極的に講じていきます。

上下水道局の仕事

上下水道局は、総務課、経営課、窓口サービス課、水道建設課、給水管理課、下水道整備課、下水道維持課の7課で構成され、上質な浄水を市民に安定的に提供すること、及び汚水の適切な処理と雨水の排除を主な仕事にしています。

上下水道局の令和4年度の目標

水道事業では安全で良質な水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、耐震補強工事を行う等、災害に強い水道づくりを進めていきます。下水道事業では、生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道施設の計画的な更新や耐震化を図ると共に、豪雨による内水被害の軽減策を進めます。また、所沢市水道事業経営計画等に基づき施策を行うことで経営基盤の強化、健全経営に努めていきます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	水の安定供給	安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した水道管を更新するとともに、配水池などの貯水施設を耐震補強するものです。	老朽化した水道管約10,900mを更新するとともに、将来の水需要等を見据えた西部浄水場更新の基本計画を策定します。	老朽化した水道管を12,927m(前年度繰越分含む)更新しました。西部浄水場更新の基本計画の策定を開始しました。
2	第一次市街化調整区域下水道整備計画(第4期整備事業)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、令和2年度から令和6年度の5年間で市街化調整区域の第4期整備事業区域内に汚水管を布設するものです。	対象地区の受益者負担金を徴収するとともに、汚水管約5,700mを布設します。	受益者負担金1,943件のうち1,884件を徴収するとともに汚水管4,579mを布設しました。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
3	マンホールサミットの開催	コロナ禍で再延期となった「第10回マンホールサミット in 所沢」を開催し、日本が世界に誇るマンホール蓋の魅力を通し、下水道事業の「見える化」とイメージアップを推進するものです。	令和4年11月19日(土曜)にところざわサクラタウンをメイン会場としてマンホールサミットを開催します。	マンホールサミットを開催いたしました。当日は晴天に恵まれ全国からサミット史上最多の約14,000人の来場者を迎え大盛況となりました。
4	雨天時浸入水対策事業	下水道施設の老朽化等に伴う雨天時の污水管への雨水の流入によって汚水の宅地内への逆流等の被害が多発していることから対策を行っていくものです。	雨水時浸入水対策計画を策定するとともに、流入が明らかとなった地域について対策を行っていきます。	計画を策定し、雨天時浸入水対策として下水管734mを布設しました。また管路733mのカメラ調査を行いました。